鉄道コレクション対応 点灯化キット 京急新1000系1800番台対応

KQ-1800_ml ライトユニット 説明書

ism-works.shop-pro.jp

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。

本キットは以下の車種に対応します。
・京急新1000系1800番台

本キットは、トレーラー車専用です。
動力ユニット付き車に使用すると、チラツキ対策を施していないため、前進時にテールライトが、後進時にヘッドライトが、チラチラと点灯してしまいます。

ご注意
・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット(標準仕様)】
・ヘッドライトユニット(兼前面幕ユニット) : 1個/セット
・テールライトユニット(兼通過標識灯ユニット) : 1個/セット
・前面幕用レンズ(透明塩ビブロック) : 1個/セット
・ヘッドライトユニット用ツバ(黒プラ板) : 1枚/セット

【ライトユニット(前面幕点灯なし)】
・ヘッドライトユニット : 1個/セット
・テールライトユニット(兼通過標識灯ユニット) : 1個/セット
・ヘッドライトユニット用ツバ(黒プラ板) : 1枚/セット

【その他】
・説明書(本紙) : 1枚
・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】
・カッティングマット
・ピンセット
・ニッパ
~~・プラスドライバー~~
・両面テープ
~~・木工ボンド~~
・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」, セメダイン「ラピー」など)
・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
・楊枝, 綿棒など
~~・ピンバイス(0.3mm, 0.5mm, 0.8mm, 1.0mm)~~
~~・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)~~
・ゴム系接着剤
~~・プラモデル用接着剤~~
・直定規
・塗装面を保護する柔らかい布
~~・ポンチ(プッシュピンなどでも可)~~
~~・サンドペーパー~~
・マスキングテープ
~~・瞬間接着剤~~
・遮光用の塗料(黒または銀)

●取り付け手順

※網かけの項目は、前面幕点灯なしの場合に不要な項目です。

1. 分解する

1-1 床板を外す

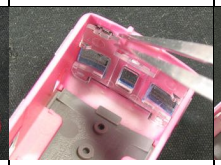
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。

1-2 側窓を外す

まず連結面の窓ガラスを外します。

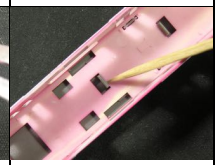
次いで側窓を外します。

1-3 前面透明パーツを外す



前面透明パーツを外します。

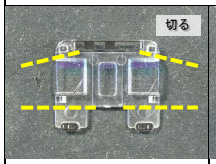
1-4 屋根を外す



天井中央の爪を楊枝などで押して、屋根を外します。

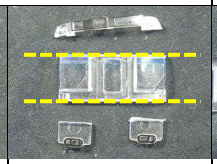
2. 車体を加工する

2-1 前面透明パーツを加工する



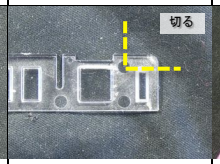
前面透明パーツを、前面幕部、前面窓、左右尾灯に、4分割します。
前面幕は折ってしまわないように注意します。

2-2 側窓を加工する



前面幕部は、ヘッドライト下部を水平に整えます。
前面窓は、上は窓の直上、下は両サイドの突起の直下まで、ヤスリで削ります。

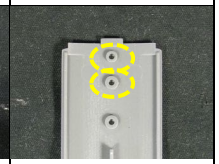
2-3 天井を加工する



側窓前端上部を、乗務員扉窓の直上、乗務員扉後ろの壁の中央で、カギ型にカットします。

2-4 屋根を加工する

天井前端の凹部をヤスリで広げ(約10.5mm)、前照灯ユニットがはまるようにします。



屋根前端の3つのアンテナガイドのうち、前側の2つを削ります。
最前端のボディに固定する爪と同じ高さにします。

3. 床板を加工する

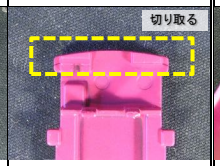
2-5 スカートを加工する

スカートの両サイドのツメをカットします。
床板には取り付けできなくなりますので、両面テープを使って、ボディに取り付けます。

3-1 床板を加工する

床板前端の両サイドを切り欠きます。
枕木方向はダミーカプラーの取付け穴まで、線路方向はTNカプラーの台座の手前まで切り欠きます。

3-2 シートを加工する



シート前端の突起より前の部分(約2mm)を切り取ります。

4. ライトユニットを設置する

4-1 ボディを遮光する

ヘッドライト・テールライトの周辺を銀または黒の塗料を塗り遮光します。開口部の断面まで、ムラなく塗ります。

4-2 前面幕部を遮光する

前面幕部の透明パーツを、表側から黒の塗料で遮光します。
前面幕の4辺の角の部分と、前照灯レンズの周辺(基部とレンズの側面)を、ムラなく遮光します。

(4-2つづき)

次いで、1.5mm×2mmのポリエステルテープを2枚用意し、透明パーツの裏側、前面幕の両側面に貼ります。

さらに、1.5mm×1.5mmのポリエステルテープを2枚用意し、前面幕の仕切り部2箇所の裏側に貼ります。

4-3a 前面幕レンズを作成する

※2016年12月発売の事業者限定品の場合です。

好みの前面幕シールを切り出し、レンズに仮止めします。
3片を切り分けず、両側から均等にはみ出すように配置します。

種別部分の左右でシールを3分割します。
種別部分はそのまま貼り付けます。
運行番号部分と行先部分は一旦はがし、約0.2mm内側寄りに貼ります。両端はサイドに折り込みます。
透明パーツにはめてみて、適切に配置されているか確認します。

4-3b 前面幕を作成する

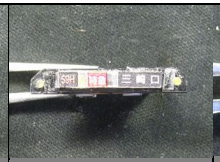
※2018年2月発売の一般流通品の場合です。

前面透明パーツに印刷されている内容で良い場合は作業しません。
行き先等を変更する場合は、印刷を削り落としてから、表側から新しいシールを貼ります。

4–4 ヘッドライトユニットを組み立てる

ヘッドライトユニットの中央部分、上側に、1.5mm × 10mmの両面テープを貼ります。

両面テープ部分に、方向幕レンズを貼ります。

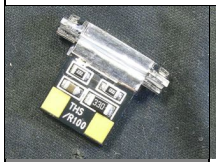


ヘッドライユリット両端のヘッドライト部分に、両面テープ片を貼ります。

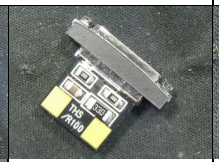
ヘッドライトユニットに、前面幕部の透明パーツを貼り付けます。
ヘッドライト部分の光ファイバーがレンズ部の穴にはまり、前面幕の上下位置が揃うように調整します。

5mm × 11mmのポリエステルテープを用意し、ヘッドライトユニットの上側を遮光します。

(4-4つづき)

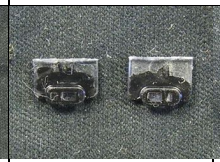


5mm × 10mmのポリエステルテープを用意し、ヘッドライトユニットの下側を遮光します。



ヘッドライトユニットの下面に、両面テープでツバを貼ります。
ヘッドライト部分の後ろ側がそろう位置に貼ります。

4–5 テールライトを組み立てる



テールライトレンズを、表側から黒の塗料で遮光します。
レンズの周辺(基部とレンズの側面、前面の角)を、ムラなく遮光します。

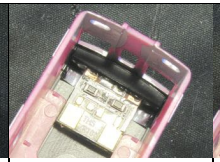
1.0mm × 1.5mmのポリエステルテープを用意し、レンズの裏側から、テールライトと通過標識灯の仕切りを覆うように貼ります。

テールライトユニットに、両面テープを使って、テールライトレンズを貼り付けます。
塩ビ角棒の発光部がレンズ部の穴にはまるように調整します。

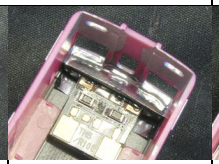
4–6 ヘッドライトユニットを取り付ける

屋根板をはめます。

5mm × 18mmのポリエステルテープを用意し、屋根板とボディの間に貼ります。

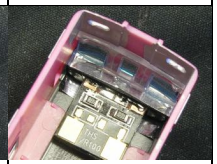


ヘッドライトユニットをはめます。
アンテナガイドの突起などに両面テープを貼って固定します。



3mm × 10mmのポリエステルテープを2枚用意し、ヘッドライトユニットのツバと、前面幕板部との間を遮光します。
左右半分ずつ貼ります。

4–7 前面窓をはめる



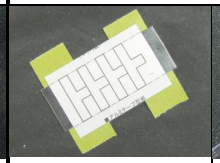
前面窓をはめ、両面テープで固定します。

5. 配線する

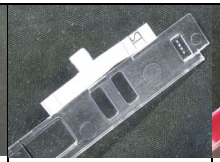
4–8 テールライトユニットをはめる

テールライトユニットをはめ、両面テープで固定します。

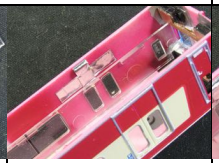
5–1 側窓の凸部にアルミテープを貼る



本紙のアルミテープ型紙を点線に沿って切り抜き、マスキングテープを使って、アルミテープの上に貼ります。
カッターで、4片のアルミテープを切り出します。

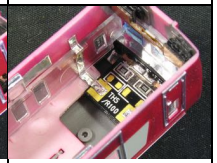


側窓ガラスの下側、床板と嵌合するツメの上に、アルミテープを載せます。ツメの先端からはみ出たテープは、裏側に折り曲げます。側窓の前後左右4箇所のツメの上に載せます。



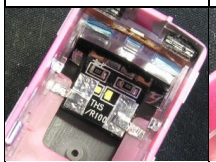
側窓を車体にはめ、アルミテープの左右に広がった部分を車体に貼りつけます。

5–2 ヘッドライトへ配線する



1.5mm × 約30mmのアルミテープで、ヘッドライトユニットの給電パッドから側窓下まで配線します。余ったテープは切り捨てます。
※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。

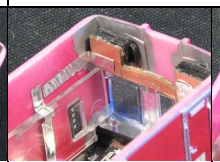
(5-2つづき)



ヘッドライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3mm × 5mmのアルミテープを重ね貼りします。

※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

5–3 テールライトへ配線する



1.5mm × 10mmのアルミテープで、テールライトユニットの給電パッドから側窓下まで配線します。

※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。

テールライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、4mm × 4mmのアルミテープを重ね貼りします。

※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

5–4 側窓下の配線の接続

5–1のツメ部分のアルミテープ、5–2、5–3のライトユニットのアルミテープを接続するために、3mm × 15mmのアルミテープを貼り重ねます。

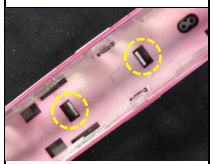
※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。

5–5 側窓下をアルミテープで結ぶ

3mm × 65mmのアルミテープを2本用意し、前後のツメの間を結ぶように貼りつけます。中央のツメは下側を通します。

●室内灯を取り付ける場合

1. ツメをカットする

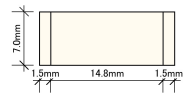


屋根の固定用ツメをカットします。

●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る

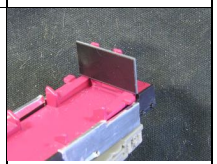
乗務員室仕切り 型紙



0.5mmのプラ板でパーツを作ります。

(遮光に適した黒いプラ板を分売しています)

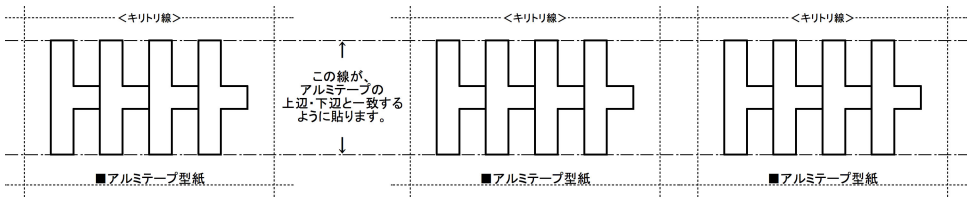
1. 仕切りを取り付ける



乗務員室仕切りを、シートの乗務員室の突起に、両面テープを使って貼ります。

KQ-1800_ml 説明書 2.20
2017/05/ 27 1.00 初版
2017/08/25 2.00 製品フォーマット改定に伴う新版
2018/01/15 2.10 前面幕点灯なし仕様を追加
2018/02/19 2.20 一般流通品への対応を追記

補修用にアルミテープ等を分売しています。
ism-works.shop-pro.jp をご覧ください。

《お問い合わせ先》
イズムワークス・直売所
〒249-0002 神奈川県逗子市山の根1-5-15, 店舗営業はしていません。
phone:0468-27-7261, 10:00〜18:00 土日祝休業, e-mail:shop@ism-works.shop-pro.jp.

ISM WORKS
ism-works.shop-pro.jp